

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第3回豊島区観光振興プラン策定委員会
事務局(担当課)		文化商工部文化観光課
開催日時		平成30年 11月26日(月) 10時~12時
開催場所		豊島区役所 本庁舎5階 509会議室
議 題		<p>1. 開会 会長挨拶</p> <p>2. 議事  豊島区観光振興プラン素案確認</p> <p>3. 閉会</p>
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
出席者	委 員	安島委員、羽生委員、近江委員、佐藤委員、田嶋委員、小寺委員 田中委員、木崎委員、森永委員、河畑委員、杉江委員、高橋委員、 齋藤委員 欠席者：平井委員、坂爪委員
	そ の 他	政策経営部企画課長代理、生活産業課長、文化デザイン課長、 東京オリンピック・パラリンピック連携担当課長、 都市整備部都市計画課長 欠席者：東京都産業労働局観光部振興課長 公益財団法人としま未来文化財団事務局長
	傍 聴 者	0名
	事 務 局	文化観光課長、マンガ・アニメ活用担当課長 文化観光課職員3名

# 審 議 経 過

## 1. 開会

文化観光課長：おはようございます。時間になりましたので、まだお見えになられていない方もいらっしゃると思いますが、始めさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

本日第3回豊島区観光振興プラン策定委員会を開会させていただきます。本委員会の議事録を作成させていただきますので、議事内容を録音させていただきます。ご了承下さい。本日は傍聴者はなしとなります。議事に入る前に出席者についてですが、今回から東日本旅客鉄道株式会社池袋駅長田中茂様が着任され、今回の委員会よりご出席いただいております。

委員：7月から池袋におります。JRとして安全安心、そして信頼できる駅づくりを目指しております。引き続きよろしく申し上げます。

文化観光課長：それではお手元の資料をご確認ください。次第にある配布資料をご参照いただき、お手元に過不足等ありましたら職員よりお渡しいたします。資料1から資料5まであります。参考でトキワ荘の散策マップ、パンフレットも配布しております。それでは開催にあたりまして本委員会会長の安島会長よりご挨拶をお願いします。

会長：おはようございます。今日は第3回の観光振興プラン策定委員会になりました。まだまだ先だと思っておりましたが、オリンピックまで2年を切ってしまい、まずはこのプランが動き出す来年度はその正念場と思っています。オリンピックだけではなく、豊島区は文化というものを大事にした地域づくりを進めており、当然観光も総合的に大きな要素です。来年1月から東アジア文化都市の動きも始まり、区全体の動きも見ながら豊島区がより輝いて皆が行きたい地域となるように、いろいろと知恵を出していきたいと思っております。この次はパブリックコメントとなり、実質的に最終的な段階に来ているため、ご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

文化観光課長：それでは当委員会設置要綱第5条4項から議事進行を会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2. 議事

会長：それでは次第に添って進めてまいります。議題にあります豊島区観光振興プラン素案確認について事務局から説明をお願いします。

事務局：それでは資料2をご覧ください。11月26日第3回の委員会ということで、今回は素案のまとめの報告と重点プロジェクトについて主に見ていただきます。この後12月にパブリックコメントがあり、1月21日に予定している第4回の委員会で、その報告をさせていただきます、また3月に第5回、最後の委員会を予定しています。こちらが今後のスケジュールとなります。それでは観光振興プランの素案の説明をさせていただきます。資料4をご覧ください。豊島区観光振興プラ

ン（素案）概要版になります。前回の委員会からワーキンググループを3回ほど開催しており、こちらの方もまとめて素案を作っています。具体的に目指すべき姿、豊島区観光のSWOT、観光を取り巻く市場環境と課題、地域づくりの基軸は前提条件となるため、説明を割愛させていただき、観光振興プランの目標から説明させていただきます。まず目標ですが、多彩な文化と多様な人々の交流で賑わう国際文化都市としま、世界に誇れるとしま観光ブランドの確立です。豊島区の多彩で多様な観光文化イベントに人々が関わり交流することで新たな価値を創出します。国際アート・カルチャー都市を推進する豊島区は、東アジア文化都市、東京オリンピック・パラリンピックを開催し、観光文化資源を最大限アピール・展開することで、国内外から大勢の訪問者が訪れる国際文化都市を目指します。としま観光ブランドとは、国際アート・カルチャーを観光の視点からとらえたもので、文化によるまちづくりによって生み出された魅力的な観光資源等と考えています。目標の下に三つの基本戦略があります。一つ目は観光資源魅力向上・創出戦略です。駅から徒歩圏内の買い物スポットやマンガ・アニメ、劇場、エンターテインメント等が集積し多様な観光イベントが実施される豊島区の観光資源を磨きあげ魅力の向上、創出を図ります。また来街者等に魅力を楽しむ機会を増やすとともに、特別な価値の提供を目指します。二つ目は情報発信・誘客戦略です。多様な情報発信ツールにより、魅力的、持続的、計画的な情報発信を行い、訪れたい豊島区を目指します。また観光客の満足度を高め、さらなる誘客に繋げていきます。三つ目は受入基盤・観光推進体制強化戦略です。区を訪れる誰もが快適な空間を楽しみ回遊性が促進される環境づくりを行い、滞在を促します。また区民を含めた多様な人材が観光に携わり、としま愛の醸成を図るとともに、観光振興を支える体制の構築を目指します。ここまでの目標戦略で、これら各戦略にひもづく施策があります。全部合わせて19の施策があります。戦略ごとに施策と施策の方向性というペーパーが3枚ほどあり、1戦略に1枚という形で書いています。最初の施策は1-1で多彩な文化にあふれるとしまの魅力の向上です。施策の方向性はとしまオンリーワンブランドの磨きあげということで、カッコ書きされている部分に前回プランから改めた部分、ワーキンググループで出したものが書かれています。具体的にはソメイヨシノ、トキワ荘、ふくろうの街、池袋モンパルナスを始めアニメ、グルメ、ショッピングというとしまの多様な魅力をブランドとして育て磨きあげる方向性を打ち出しています。二つ目の方向性としては、文化芸術、伝統芸能、サブカルチャーの観光活用、観光資源としてのイベントの活用となります。施策の二つ目、1-2は人と文化の交流拠点としての空間を創出します。一つ目としては人を惹きつける空間の創出、二つ目は体験型観光（モノからコトへ）の推進、三つ目は魅力ある都市景観の創出があります。右側に進んで、1-3としまの地域資源の活用ですが、地域資源の活用と回遊性の向上では、としまのエリアごとの魅力を生かして地域での回遊ルートを検討します。二つ目とし

まの国際色豊かな食資源の観光活用、三つ目にとしまのショッピングタウンとしてのイメージ強化として、池袋を中心に多くの来街者を惹きつけるショッピングタウンとしての活用を促進します。四つ目にテーマ別観光ツーリズムの推進です。1-4 にとしまの多様な魅力の相乗効果促進です。アフター・ザ・シアターの推進、VR、AR 等の最新技術の活用です。1-5 は他地域との連携による魅力増進です。ゲートウェイシティとしての機能の強化、豊島区が現在交流のある約 50 都市との姉妹友好交流都市協創を推進し、国内外との共同事業を実施し、相乗効果で観光客を誘致していきたいと思っています。更に類似資源を有する地域との連携強化です。次に情報発信・誘客戦略の施策と施策の方向性です。2-1 として国際文化都市としまのイメージ醸成で、としまのイメージの明確化、国際アート・カルチャー都市のシンボル Hareza 池袋の発信、2-2 公民連携による情報発信の検討ということで、豊島区観光協会との連携強化、観光産業団体等との共同、大学等の教育機関との情報共有、国、都、自治体との連携強化です。2-3 効果的な情報発信ツールの整備拡大でターゲットに合わせた情報発信ツールの検討で、SNS でのインフルエンサーを活用した効果的な情報発信を検討します。2-4 来街者の誘致強化では、国際的イベントの活用として、としまを魅力的に発信するため、東アジア文化都市 2019 や東京 2020 大会などの関心度の高いイベントの機会を活用し、発信を行います。また、海外旅行博、マンガ博へ出展も続けていきます。さらに国際会議やイベントの誘致も推進します。2-5 メディアの効果的活用による観光 PR では、国内外への観光情報の発信、メディアへの撮影場所等の情報提供を行います。2-6 来街者とのコミュニケーションによるとしまファンづくりでは、来街者との対話型のコミュニケーションを強化していきます。次に受入基盤・観光推進体制強化戦略です。3-1 多様な来街者を受入れるための環境整備では、キャッシュレス対応施設の拡充ということで、世界的に進展するキャッシュレス化に対応し、対応可能な商業施設の拡大を推進し、利便性を高めていきます。インバウンド対応力の強化、観光案内所の機能の整備、わかりやすいサインの検討を行います。3-2 ユニバーサル・ツーリズムの推進、誰もが快適に過ごすことのできるまちづくりの推進、こころのバリアフリーの促進です。3-3 安全・安心なまちづくりの展開です。来街者に対する危機管理体制の検討、災害時の協力体制及びボランティアの組織の検討です。3-4 地域団体等との連携によるとしまに対する愛着醸成ですが、区民によるとしまへの理解促進、ボランティアガイド機能の強化、観光公害への取組みです。3-5 オールとしまで観光を盛り上げる仕組みの検討です。観光講座・職員研修の実施、事業者との連携による観光振興体制の検討ということで、としまの観光をより盛り上げるため、観光協会、インバウンド推進協力会、観光案内所、他団体等と連携するための枠組みを検討します。また区内の人財の活用促進です。3-6 豊島区観光振興推進委員会による進捗管理、豊島区観光推進委員会の活動促進は前回から引き続き進めていきます。3-7 観光客の滞在促進・交流拠点施設のサービス充実

では、来街者ニーズに対応した多様な宿泊施設の提供、交流拠点のサービス充実策の検討を行います。最後に3-8 としまの魅力を高める区内回遊性の向上ですが、集客拠点と地域資源との連動した回遊ルートの検討、区内回遊ルートの構築です。これら3戦略の19施策になりますが、資料4の2ページ目をご覧ください。左側にリーディングプロジェクトがございます。3戦略、19施策を実現させるために、先立って実施し、今後の観光振興に弾みをつけるため、10のプロジェクトをリーディングプロジェクトとして挙げています。1番目東アジア文化都市2019豊島の開催及びレガシーの活用ということで、これは戦略施策の1-1、2-4に該当します。2番目としてマンガ・アニメの原点トキワ荘を活かした観光振興、3番目としま文化のシンボルとしてのHareza池袋活用、4番目4公園、および移動手段の整備による回遊性の促進、5番目真っ赤な電気バスによるエンターテインメント性の創出、6番目としまオンリーワンブランドの発展、7番目としまの魅力の訴求とイメージの醸成、8番目インバウンドの誘客促進、9番目アフター・ザ・シアターの推進、10番目まち全体を舞台としたイベント展開と以上10のリーディングプロジェクトです。説明は以上です。

会長：続いてマンガの原点について説明をお願いします。

マンガ・アニメ担当課長：私の方からは資料番号は振っていませんが、トキワ荘ゆかりの地散策マップとトキワ荘再現の寄付金のパンフレットをお配りしています。他資料としてA4判で南長崎花咲公園の整備計画図、トキワ荘ミュージアムの平面図がわかるように示した資料で簡単にご説明させていただきます。トキワ荘ゆかりの地散策マップをご覧ください。皆様トキワ荘についてはご承知だと思いますが、椎名町駅と東長崎駅、都営大江戸線では落合南長崎駅の近くになります。マップでは22番のトキワ荘のヒーローたちということで記念碑を設置している南長崎花咲公園にトキワ荘の再現施設を整備する取組みを進めています。ちょうど6月に展示建築の設計が完了し、12月に入りますと公園に桜などの記念樹等樹木の移植をし、植栽の撤去、地盤調査を行い1月から建築工事に入っていきます。そういったスケジュールで取組みを進めています。2020年オリパラの開催年の3月にオープンします。トキワ荘のあった南長崎の地域では、としま南長崎トキワ荘協働プロジェクト協議会と言って、南長崎地域の町会や商店会にも入っていただき、活動していますが、そちらと区が一緒になってマップに掲載されているモニユメントの設置や、マンガによるまちづくりを進めています。いよいよマンガの街南長崎、豊島区の象徴となるミュージアムはオープンしますが、具体的なことに関してはA4の資料でご説明させていただきます。南長崎花咲公園の整備計画図をご覧ください。一番右側、公園の南側の奥まったところ、トキワ荘通りに面した場所に南長崎花咲公園があり、ここに再現施設をオープンします。この整備にあたり、トキワ荘通りに面した左下、ミュージアム入り口と記載した部分が本来はコインパーキングがある場所で、この土地に関しても所有者から来年の4月以

降貸していただけることになり、区で借りて大型バスが入るような駐車場として整備していきたいと考えています。公園の中央で、ミュージアム入口の動線にかかってくるのですが、公衆便所がありますが、改築することを検討しています。マンガ・アニメのミュージアムにふさわしいトイレを工夫して検討しています。2 ページ目ですが、右上に資料 2 と振ってあります。1 階と 2 階があり、トキワ荘を再現しますが、外観についてはトキワ荘を再現し、内装は玄関と階段について再現、マンガ家の先生がお住まいであった 2 階の部分についても忠実に再現します。1 階の図面をご覧くださいと、多目的ホール、バックヤードの 7~9 番ですが、こちらの部分はもともと公園の敷地ではありませんでしたが、ちょうど隣接の土地を区で取得することができ、付属施設としてこういった機能を持たせることになっています。次のページは具体的な展示です。まず 1 階の玄関、階段は当時の様子を再現しますが、それ以外の部分は回遊情報コーナーを設けて、豊島区、南長崎地域の回遊情報を、デジタルサイネージ等を用いて案内するとともに、その向かい側には企画展示室での企画にちなんだトキワ荘にゆかりの深い先生方のマンガ本を置いて、皆様にご覧いただけるように考えています。簡単なものですがトキワ荘にきた記念品等も用意してミュージアムショップで販売していきたいと考えています。4 ページ目に 2 階について示しています。マンガ家の先生が住んでいたお部屋は当時の様子を再現し、内装は 4 畳半の和室を再現します。マンガ家の先生がお住まいではなかった、階段の後ろ側の部屋は常設展示室とし、トキワ荘の紹介や、椎名町がどういった街であったのかご紹介します。18~20 号室はお住まいであった先生の協力がいただけたため、内装だけではなく調度品も使い当時の様子を忠実に再現する再現展示を行いたいと考えています。それ以外の居室、手塚治虫先生、藤子不二雄先生（A 先生、F 先生）、石ノ森正太郎先生は、すでにご出身であった場所に記念館があり、そこで再現されているため、先生方をご紹介し記念館を紹介する連携した取組みを考え、どうすればマンガができるのか等を示したものを用意したいと考えています。また 22 号室の寺田ヒロオ先生の部屋は現在トキワ荘通りのお休み処で再現していますが、そちらはそのまま残し、こちらはお休み処を案内する、当時の様子を再現するお部屋にしたいと考えています。それ以外の共同炊事場、便所は実際に使うことはできませんが、昭和の時代を感じていただく再現をして皆様にご覧いただきたいと考えています。また図面の右奥 19 号室の隣の部分はマンガ家の先生がどなたもお住まいではなかったため、こちらはエレベータを設置し、高齢者や身体の不自由な方にご利用いただけるように計画しています。説明は以上です。2020 年 3 月のオープンに向けて取組みを進めています。トキワ荘を再現するという事で現在寄付を募集しており、3 万円以上の寄付をいただいた場合には、ミュージアムを整備する南長崎花咲公園の敷地内に設置する銘板に名前を刻まさせていただきます。区内の企業にもトップセールスでご支援を依頼しに行き、過去を振り返るだけでなく、子どもた

ちの未来につながる施設にしていくために、皆様の力で取組んでいきたいということで、既に550件ほどの支援をいただき、1億8,400万円を超えるご支援をいただいています。

会長：ありがとうございます。マンガミュージアムの建設はいつからですか。

マンガ・アニメ担当課長：12月に竣工し、来年1月に着工します。

会長：1年でできてしまうのですね。入場料は決まっていますか。

マンガ・アニメ担当課長：まだ金額は決まっていますが、いただく予定です。

会長：ただ今説明していただいたプランですが、前回から比べるとインバウンドの状況も変わり、文化芸術に大きく方向を定めて動きだし、観光を取り巻く大きな情勢の変化もあります。羽生先生を中心とするワーキンググループと事務局の皆様が、これまでプランを練ってきました。それを土台に本日提示しています。説明されたことに対して少しご意見を頂戴していきたいと思えます。まず順番に伺いますので、よろしくお願ひします。

委員：ありがとうございます。かなり盛り上がっていて良いのではないのでしょうか。ただユニバーサル・ツーリズムの推進ということで、こころのバリアフリーの推進ということが出ていましたが、外国人が街中で不便を感じないように協力できる人材の育成、意識の醸成を図るということで、とても良いことですが、具体的にどのような施策になるのでしょうか。どのようなことをして人材育成をしようとしているのでしょうか。

文化観光課長：実際には既に学校教育現場や、観光課ではおもてなし講座と言って、オリパラに向けて東京都と一緒にしている事業があり、そういった講座を更に充実していき、事業として広げていきたいと考えています。ただ既存の事業ですので、ただ充実させるだけではなく、具体的なことについては今後考えていきます。方向性としてこのように進めていくということです。

委員：続いて次の災害時の協力体制及びボランティアの組織の検討にかかっていますが、現在年間豊島区に300万人の来街者があります。仮に豊島区で直下型の地震が起きた際にその人たちの避難誘導はどうするのでしょうか。豊島区は「いらっしやい、いらっしやい」ばかりで大勢呼び込んでいますが、それに対する災害対策はできているのか聞かれたことがありました。人を呼び込むだけではなくてその人たちが、災害にあった際に安全に誘導されるということは必須の課題ではないのでしょうか。その辺りの対策をどのようにされるのでしょうか。

文化観光課長：まさに観光協会の会長からの重大な視点のお話しです。池袋駅周辺では、区の防災危機管理課が主幹し、民間企業も入っている推進協議会があります。現在はこの協議会に観光協会や観光課長が入っていません。防災企画課にも話して今後は観光の視点を入れて対策をしていく必要があると考えています。まだ不十分なところもあるため観光協会会長とともに、災害対策に対する外国人の対応についてしっかり考えていきたいと考えています。

会長：基本的に担当は災害担当課だとは思いますが、是非観光に対してどのように対応していただけるのか、観光課の方からも意見を言って、万全な準備をしていく必要があります。特にここ数年で外国人の数が変わってきており、震災があれば大変なことになると考えられます。その辺りは是非この中に書きこんでおくべきではないでしょうか。

委員：同じことですが、来街者ではなく既に 3 万人いる居住外国人に対する対応、日常的に日本語がわからない方に対する対応、誘導、避難も併せて検討していただきたいです。個々に消防や警察がボランティアを募集して訓練していますが、区全体では承知しているのでしょうか。全体として途切れている感じがしますので連動してほしいと思います。

委員：私どもも避難施設、受入施設になっていますが、今月 15 日に帰宅困難者対策として大地震が起きた場合には西口公園に一時移動し、メトロポリタンに避難する訓練を行いました。年に 1 回行っています。ホテルに来れば多言語で案内ができますが、全体を把握していません。それ以外のところはどうか。確認する必要があります。また受入れ基盤 3-1 について、多様な来街者を受け入れるための環境整備、わかりやすいサインの検討の部分で、基本的に文字よりはピクトグラムが良いのではないのでしょうか。トイレは男性と女性のサインでわかると思います。豊島区でピクトグラム利用の統一をすればより分かりやすいのではないのでしょうか。日本は非常に自動販売機が多く、それは良いと思いますが、海外の方にとっては使いづらいです。店で買う食券の意味がわからないということはよく言われます。トイレ以外にもピクトグラムとして表示できるものがあればより分かりやすくなるのではないのでしょうか。そこに一緒に出ているキャッシュレス対応ですが、ホテルも遅れており申し訳ないのですが、特に中華圏の方たちは自分の携帯を出して支払をすることが多くなってきています。実は今週あるホテル業界の国際ホテルレストランショーの委員会でも議題として上がっていますが、なかなか浸透していません。中国の子どもの中にはもう現金を見たことがない人も既にいるというぐらいキャッシュレスが進んでいます。ヨーロッパも進んでいます。私たちが勉強する必要があります。日本は非常に銀行の ATM コーナーが発達しどこでもお金を下ろすことができます。日本人にとっては便利ですが、日本の口座を持っていない海外の方にとっては非常に不便です。携帯で払いたいものがたくさんあるのではないのでしょうか。これも地域として考えていく必要があるのではないのでしょうか。

会長：災害時のホテルの果たす役割は非常に大きいです。まずホテルに行けば色々な情報が伝わり、語学が堪能な方が多く、観光関係者の間だけでも何か起きればホテルに行き情報をもらうということを周知しておくことが必要ではないでしょうか。それも御検討いただきたいと思います。

委員：3.11 の際も避難者を受け入れましたが、ロビーに収まりきらず 2 階 3 階 4 階と



どんどん開放していき、宴会場の前のホワイエにも避難者を受け入れましたが、避難者から一番ありがたいと言われたのはテレビでした。テレビを各階に設置し、今どうなっているのか、列車が動き始めているのか、そういうことを皆様は見たいと思っています。携帯が通じず情報が取りづらくなっていました。コーヒーや非常食を提供していましたが、一番喜ばれたのはテレビの放送でした。

会長：当時、立教大学も池袋キャンパスに 4,000 人を泊めたそうです。ちょうど学食の食糧で炊き出しをしていました。この地区の人はどこに行くべきなのか観光業者だけでも統一しておけば外国人は安心するのではないのでしょうか。どこに行けば情報が得られるということを伝えることが重要です。キャッシュレス社会はものすごい勢いで進んでいます。この観光振興プランだけでは対応しきれませんが、それぞれの場所で努力されているため、自動的に進んでいくのではないのでしょうか。

委員：三つあります。一つは先ほどお話がありました百貨店としてインフラの整備を進めていくべきことが盛り込まれており、現在実際に進行中のことも入っていますが、これをしっかりやることで来街者の方々の利便性、特にインバウンドの方の利便性が上がっていくため、必ずやっていくべきだと考えています。一方で違う視点で話しますと国際アート・カルチャーという非常に大きな目標がありますが、個人的にはトキワ荘も良いのですがアニメだけではなくもう少し高度な Hareza もありますが、アートには幅があり、あまり一つに絞り込まずにいろいろな面で豊島区は本物からサブカルチャーまで楽しめるということを押して行ってはどうでしょうか。アニメなど何か一つに固執するということは違うのではないのでしょうか。もう一つは区民の立場からですが、区民の参画という部分です。これは区としても苦勞していると思われませんが、一番難しいところです。自身も区民としてどのように前向きに出ていくか、取組んでいくべきか具体的なイメージがわきませんでした。

会長：ありがとうございます。アニメだけではなく幅広く取り組むことですね。まさか世界的な広がりを見せるとは当時トキワ荘でマンガを書いていた人は思わなかったと思います。そういった将来大きく発展していく芽、生まれるものが豊島区にあるのではないのでしょうか。それも含めて振興できればと思っています。池袋は買い物の街、買い物が楽しい街づくりを担っていただきたいと思っています。

文化観光課長：区民参画についてですが、豊島区には 3 万人の外国人が住んでいます。今後も増加していくと思っています。その意味では多文化共生、多様な方々と一緒に豊島区を愛し、良くしていくことを事業として進めていくべきだと考えています。本日、国際交流イベントのチラシをお配りしていますが、これも文化観光課が所管しており、国が違えば文化も違うと書かれていますが、こういったイベントを通して多様な国籍の方が共に豊島区で生活しているということをお知らせすることがまだ不十分だと認識しています。観光公害も出てきますが、理解を推

進めることで外国の方との良き関係を作っていくことが大事だと考えています。

委員：ワーキンググループにも何度か参加しています。プランとしては三つの戦略、19の施策でよくまとまっていると思います。ただそれぞれの施策の下にぶら下がっている、トータルで47個のプロジェクトがありますが、前回作ったものも多数あり、役所が作る以上やむを得ないかと思われませんが、やらないものは消していくことも必要ではないでしょうか。今回、プランはできましたが誰がやるのかということが一切書かれていません。またいつまでにやるのかということも書かれていません。いくらかけてやるのかということも書かれておらず、その意味ではただの計画、机上のプランだと思っています。またリーディングプロジェクトを見ると1-1に関連するものが4つ、1-4に関連するものが1つ、2-1に関連するものが2つ、2-4に関連するものが1つ、3-1に関連するものが1つ、3-8に関連するものが2つ出てきています。基本的にありもののハードにぶら下がったソフト事業をするのであれば、これをいつまでに、誰が、いくらかけてやるのか、全て区でできるとは思っていません。民間でやってもらうことも当然あると思います。税金をつぎ込む必要もないです。民間がどうすれば喜んでするのか、もう少し施策として打ち出す必要があるのではないのでしょうか。具体的にはキャッシュレスの件はずっと言い続けて、ようやくプランに入りましたが、これは各事業者任せでは進みません。結局手数料の高い安いが主で、この部分に行政が介入する必要はありませんが、最初の一步を踏み出す説明会を行わなければ利便性もわかりません。キャッシュレスを導入すれば客単価がどれくらい上がり、最終の取扱量がどうなるのかというデータを公的な機関が示してはどうでしょうか。教えていかないと大企業は別にして中小事業者はまったくわかりません。観光部署がやっていく必要があります。豊島区は他の自治体に先駆けて観光客向けに全ての飲食物販の店でキャッシュレス決済ができるということを打ち出せば知名度のアップにつながっていくのではないのでしょうか。これは他の自治体に先駆けることが重要です。40数個のプロジェクトがありますが、いくつかまとまるのではないのでしょうか。どういう軸で書くかはお任せしますが、網の目になっている施策の体系の中で重なる部分を探してはどうでしょうか。2019年、2020年で大型のイベントも続きますので、プランはしっかり進めていく必要があります。また、お休み処は他の観光施設と同じような使い方をしないでほしいです。お休み処なので、きちんと休めるようにしてほしいです。詳しい方が丁寧に説明してくれますが、お茶を飲む施設が必要です。公園にトキワ荘のミュージアムを作るとなると、たいして大きい施設にはならないため、中でゆっくり座ってマンガを読むことは難しいかもしれませんが、子どもが遊ぶ公園であればベンチを作る等、来街者がもう少しゆっくり座れる場所を作ってはどうか。回遊を目指すのであれば、高齢者が多いと思われるため、休める場所は必要です。南長崎のスポーツ施設に行っていますが、初めてある先生のモニュメントを見ましたが、単なる区の見

板だと感じました。写真を撮って拡散しようとは思いません。区内には山のよう  
にクリエイターの卵がいると思われるため、どうしたら写真を撮って拡散して  
もらえるのか、一つ一つは良いのですが、もったいないです。せっかく作るの  
であれば写真を撮って拡散してもらえる建てつけが必要です。それをすること  
で人が寄って来るのではないのでしょうか。情報発信はこういった小さいこと  
の積み重ねです。この辺りをどうプランに書くのか、誰がやるのか、誰に  
やらせるのかを記載していただきたいと考えています。

会長：こういったプランではどうしても主体・期限・予算が問題となります。  
どうやってこのプランを担保するのか、大変難しいところです。観光で  
できることは限られているため、この後に予定されている委員会までに  
どこをどうするのかできるだけ詰めていきたいと考えています。

文化観光課長：キャッシュレスについては観光課、生活産業課で、中小企業  
のキャッシュレス化の拡充について、一緒になって進めています。観光課  
としては提案いただいた最新の国の動向、補助についてインバウンド  
推進協議会等で情報をしっかり伝えて進めていきたいと考えています。  
商店街には生活産業課が勉強会を行い、情報をしっかり伝えていきま  
す。そういった取組みを進め、東京の中で豊島区が成功するように頑  
張っていききたいと考えています。

委員：初めての参加で意見を申し上げて良いのか迷うところではありますが、  
申し上げます。前任者が過日も委員会で言いましたが、池袋駅は1日55  
万9千人の乗降があり、最新では56万5千人を超えています。社内的には  
着任してから国際文化と歴史を築く街の玄関口として池袋駅を挙げて  
います。今まで新宿駅や東京駅で仕事をしていて、お客様から道が  
わかりづらいというご意見をいただくことがあったのですが、池袋  
に着任してからが一番多くお客様から道がわかりづらいというこ  
を言われます。3-1にあるわかりやすいサインの検討は、ピクト  
グラムも含めて、色分けで道案内ができないか社員で検討してい  
ます。外国のお客様にもわかりやすいのではないのでしょうか。結  
論までは出ていませんが検討を始めています。もう一つバリアフ  
リーの観点から言うと、全くもってJRは遅れているため、社内的  
に何とかしようと動き始めました。3-3で安全安心の街づくりは  
私も一番関心があるところで、ホテルさんから話もありましたが、  
過日池袋駅を中心とした帰宅困難者対策訓練の中で外国からのお  
客様対応として、外国語に対応したアプリを活用した駅舎案内  
等を導入しましたが、まだまだ足りない部分があります。外国から  
お客様を誘致するのであれば、安全安心は地域と一緒になっ  
て何らかの施策を取らないといけないと痛感しています。また  
3-4で観光公害への取組みが新規に入っていますが、私も毎朝  
駅周辺、駅構内のゴミを拾って回っています。駅はきれいにな  
りつつもまだまだ街中はゴミがあり、特に早朝は多いです。こ  
の辺りも何とかできないのでしょうか。また池袋駅周辺には家  
を持たない方が大勢いらっしゃいます。安全安心を謳うのであ  
れば、そういう方々も活用し

て何かできないでしょうか。例えば毎朝のゴミ拾いを協力してもらうとかできないか悩んでいます。3-5ではオールとしまで観光を盛り上げるとありますが、弊社にもインフォメーションが池袋中央通路にあり、土曜日曜はカウントができないほど外国人からのお問い合わせが多くあります。これらに対応できるようインフォメーションも強化していく必要があります。最後にトキワ荘の関係ですが、私も近くに住んでおりワクワクしています。トキワ荘が復元され、もっといろいろな外国人の方々が来られるようになっていきたいと思います。散策マップも非常に良いですが、豊島区にはいろいろな見どころがあるので、是非池袋駅からトキワ荘までの観光マップもできれば有り難いです。

会長：わかりやすいサインの検討ということで、いろいろなことを検討されていますが、これも結局、先ほど出たユニバーサル・ツーリズムに繋がっていきます。そういったことも含めて全体として推進していきたいと思います。観光公害的な視点からもご意見をいただきました。これまであまり検討していませんがどうでしょうか。渋谷のハロウィンが問題になりましたが、池袋は問題にならず良かったです。

文化観光課長：ワーキンググループではそこまで観光公害については議論していませんが、急遽入れさせていただきました。昨今の京都や鎌倉エリアはゴールデンウィークの時期には完全にキャパシティをオーバーしています。池袋はまだそこまでいっていませんが、やはりこれから何百万人という観光客が来るとなると、観光公害について考えていないことは問題です。民泊の問題もあり、地域住民が来街者と共生していくことが豊島の愛着の醸成にも繋がっていくため、具体的なことはこれからですが、この方向性は検討していきたいと考えています。

会長：京都や鎌倉はオーバーツーリズムという言い方をしていますが、そういう視点を入れておく必要があります。民泊の問題もあります。観光振興プランは外からたくさん人に来てほしいという主旨で作っていますが、豊島区役所の自治体としての一番の仕事は住んでいる人が安心して暮らせる街を作ることです。その視点は是非どこかに入れておきたいと考えています。

委員：前回のプラン策定時にも委員として参加していますが、過去の資料を見て、今日はリーディングプロジェクトについて申し上げようと思っています。私は商店街で店舗を構えている一方、商店街連合会にも代表として参加していますが、観光でも観光協会に入っています。インバウンドの防災に関して東京都では台東区が動き始めています。以前は豊島区の観光振興プランと似たような形で、2016年頃はインバウンドの防災の表記はありませんでしたが、地元の和菓子屋の店長が危惧して手作りの防災案内を作成しました。これを始まりとして台東区の消防を含めて防災訓練をする流れとなっています。観光協会の中に浅草と上野の観光連盟が別組織であり、非常に小回りがきく体制になっています。豊島区も台東区に問い合わせ、情報を共有していただくと良いと思います。キャッシュレスにつ

いてですが、豊島区は商店街が多いのですが、立ち遅れておりクレジットカードが使えないところも多いです。中国は国策として進めており、一個人の情報管理のためにされています。脱税をしてもすぐにばれてしまいます。日本は民間事業者が頑張るしかなく、なかなか広がっていきません。導入するにあたってお客様にもメリットが感じられないと厳しいです。キャッシュレスに関して地蔵通り商店街は中国客が非常に少なく、アジア全体でも団体は全く来ません。そういう場所ではカードがなくても問題がありません。そうはいつでも将来に向かって整備していく必要を感じていますので、各商店街にも取組みを強化していきたいと思っています。リーディングプロジェクトに関してですが、まずトキワ荘に関しては、作るのであれば仕方がないですが、問題は仕掛けです。スマホの AR で、GPS とカメラを連動させて、部屋ごとに当時の部屋の絵や説明が出るとか仕掛けをしても良いのではないのでしょうか。トキワ荘は当時あった場所がないため、当時の場所に現在立っているアパートの近隣の方が迷惑するかもしれませんが、そこに行けば昔のトキワ荘を見られる等、仕掛けをしていくべきです。先ほどトキワ荘のミュージアムの中にマンガを置くという話をしていましたが、本屋に行かないと買えないとなればつまらないです。その場でネット上のデジタルマンガにアクセスしてその場で買っても良いでしょう。さらにダウンロードするにも普通の Wi-Fi よりも高速の Wi-Fi が敷設されているといったことをどんどん仕掛けて入館者にメリットを感じさせないと、入館料がゼロではないため、2 度と行かなくなってしまいます。③～⑤ですが、池袋は従来から LRT の整備を進めており、協議会も生きているため、あまり言えませんが、始まった頃は良い交通手段でした。今は電気バスとなりました。ただ今後 Hareza や劇場等を活用した大きなイベントをすると、需給調整もあります。今年度発表されたトヨタとソフトバンクのスマートモビリティでは、誰がどれくらい乗るのか、どれくらい台数を回せば良いのかを調べる事業をします。こういった事業に豊島区が真っ先に今手を挙げないといけません。電気バスはひとまず置いておいて、大規模な輸送を考えないと、二番煎じでは宣伝になりません。オンリーワンはずっと言い続けているため、良いとして、インバウンドの誘客促進についてです。今の世代の人たちは動画を見えています。動画を撮りためることは時間もかかり手間もかかりますが、観光は動画が 1 分あればイメージが広がり誘客できます。航空機内でも将来的には乗客自身のスマホやタブレットを使って機内 Wi-Fi を通じて映画を見せる時代になります。その際に動画を作っておき飛行機内で誘客する必要があります。単純に SNS とだけ記載するのではなく具体的な形で書いていただきたいです。アフター・ザ・シアターは店舗等の整備は、ディズニーランドでも夢と言っていますが、やはり良いところに食べに行って店を出た瞬間に夢がさめてしまえば続きません。京都や金沢は街並みが良いので、良い気分ですら帰ることができます。良い店で良い雰囲気ですら食事をして外に出たらさめてしまうことがあります。池袋は芸術通

劇場周りの景観を規制して、良い劇を見た後に良い気分です。駅まで行けるようにしてはどうでしょうか。ナイトタイムエコノミーと言っても、良い劇を見た後にネオンがキラキラ光っているのは劇の談義をする気も起こりません。それは観光の方から強く言うべきです。

会長：一つずつコメントできませんが、いろいろなことについてご意見を頂戴しました。地蔵通りに対する言及が少なかったのではないのでしょうか。地蔵通り商店街は豊島区の中では商店街として特別な場所であり、東京の中でも元気な商店街というところ必ず挙げられるため、商店街の活性化の象徴としてどこかで取り上げてはどうでしょうか。

委員：日本全国に視察に行きますが、商店街と言ってもさまざまであり、商店街という一言だけで収まりません。渋谷のセンター街でも商店街です。神楽坂の飲食店が多いところも商店街です。巣鴨の地蔵通りも商店街です。巣鴨の商店街は職住が一致しており、その比率がいまだに全体の 8 割を超えています。先ほどの観光公害にも戻りますが、ご自分の家の前が散らかっていれば掃きます。それが軒を連ねて 190 件あり、みな自分の家の前をはいているためゴミがありません。地蔵通り商店街は今年度もトリップアドバイザーで四つ星をいただきましたが、おおむね中国語や英語のコメントを翻訳してみると、どこにもない店が多いということが一致しています。それがキーワードではないのでしょうか。

会長：そういった店の特色があり、日本は超高齢化社会を迎えて、年寄りが好きな街が一番ではないのでしょうか。

委員：台湾、韓国も高齢化が進み、毎年たくさん来ています。Wi-Fi は平成 29 年度に東京都の補助金をいただき、巣鴨フリーWi-Fi を設けて、16 言語で認証できるようにしています。昨年 12 月に始まり、11 ヶ月で利用者数が 7 万人を超えました。一単体の商店街で 7 万人の利用者が多いのか少ないのかの指標はありませんが、そういったことになっています。

会長：地蔵通り商店街はプランのどこにも書きこめていないため、付け加えるべきです。

委員：よろしくおねがいします。最初に感じたのはこのメンバーのアンテナが高いということです。皆様の発言と重複することがあると思いますがお許し下さい。資料 4 のところですがまとまっていると感じました。その中でこれらの記載が現実になっていくとばかり思っていました。先ほど誤差のようなものがあるという話をいただいて逆にびっくりしています。3-1 に関して QR コードは良いと思いますが、浅草でビーコンの工事をしており、東京都の補助を受けて始めています。それも一つの案として良いのではないのでしょうか。先ほど田中駅長がおっしゃいましたが、3-4 のゴミ対策は非常に大事だと思っています。負の遺産ではないですが、きれいなものを見た後に汚いものがあるのはいかがなものなのでしょうか。当たり前ですがゴミがあるとカラスやネズミ、ゴキブリが増えてしまえば、安全安

心ではなくなってしまう。ディズニーランドはきれいだからこそ皆が行くわけで汚いと行きたくなくなります。表面的な部分を考えていただくことは有り難いのですが、きれいな街として豊島が賑わい、住宅に関するランキングでも上の方になったと区長も喜んでいたので、豊島区として維持管理を大事にしていただきたいと思います。

委員：トキワ荘に関しては非常に楽しみです。先日平成帝京大学での豊島区のシンポジウムで、昔からのマンガが出て来て懐かしく楽しみに思いました。また、南池袋公園に行ってきましたが、たくさんの子どもから大人まで、外国人も日本人もいましたが、休める場所が本当に欲しいと思いました。ちょっとベンチはありますがトイレも含めてもう少し工夫してもらいたいと思います。休める場所を隅の方でも良いので工夫していただければありがたいです。また、他の地域の方から豊島区が変わった、池袋がすごいと言われます。巣鴨や地蔵通り商店街も含めて非常に興味を持っていただいています。とても嬉しいのですが、先日、京都の混雑を見ていて、楽しみに来たのに帰りに辛かったと感じて帰ってもらうのは困ると思いました。混んだ時を想定してどういう風に段取りを整備するかが大事だと思いますし、皆さんが関心のあるところだと思います。先日のシンポジウムでも立ち見が出るほど皆さん興味を持っていました。これからいろいろな問題をどのように片付けていくかが大事だと思います。

委員：旅行会社としてどのようにお客様を引っ張ってくるのかに興味があります。2-4で国際的イベントの活用とあります。旅行博、マンガ博への出展とありますが、ちょうど1ヶ月前にJNTO フランクフルト事務所、デュッセルドルフの日本商工会議所にお邪魔しました。そこで話を伺ったのですが、現在観光庁が欧米豪にお金を使ってくださっているとのことで、豊島区の宣伝もしてきました。いわゆるコスプレイヤーについてですが、ドイツでも多いのです。しかし、やはりフランスにはかなわないという話を聞きました。デュッセルドルフは毎年大きなイベントをしており、ヨーロッパ全体から大挙して人が押し寄せるのですが、フランスは近いので特にフランス人がたくさん来るそうです。ドイツのマンガ売り場も立ち読みしている方がおりますが、フランスではもっと大きな面積のマンガ売り場があるそうです。観光庁がヨーロッパにたくさん予算をつぎ込んでいるということについて理由は単純で、たくさん時間をかけて来てくれる人は、たくさん滞在してお金を使ってくれるからです。フランスやドイツを誘客のターゲットとして狙っていくのも良いのではないのでしょうか。

会長：ヨーロッパ、フランスもすごいですね。池袋にも来ているのでしょうか。

委員：残念ながらそれほど知られていないようで、秋葉原に行ってしまうようです。豊島区の魅力は全く負けていないのでどんどん宣伝していきたいです。

会長：池袋だけで戦っても苦戦しそうなので、秋葉原や中野、杉並と組んではどうでしょうか。ヨーロッパから来る人は豊島区を目指して来るわけではないので、他

地域との連携が重要だと思っています。それについてはプランに書いたつもりです。

委員：私はお茶文化コミュニティを、井の頭公園を絡めて作っています。公園内に昔徳川家康がよく茶をたてた湧水があり、それを地域資源として皆でお茶の木を育ててグリーンティピクニックのイベントをしています。実は豊島区の池袋幼稚園の協力を得て、茶畑の第一号が豊島区にできました。それをもう少し広げたいと思っています。ワーキンググループでアイデアも出させていただきましたが、ソメイヨシノ発祥の地なので世界に誇れるクオリティの高いハイクラスの日本一の花見ができればと考えています。和文化、茶文化という世界に誇れる文化を絡めた花見が区内のどこかでできないかというアイデアを出させていただきました。来春が新芽の時期で、小さなお茶会を考えています。幼稚園の皆さんも楽しみにしております。豊島区全体にも広げていければと思っています。

会長：是非ソメイヨシノも含めて一緒に行きたいです。

委員：改めてこの間に渡る審議、ワーキンググループにご参加いただきありがとうございました。感想だけになりますが、いただいたご意見はごもつともだと思えます。これからは選択と集中だと考えています。限られた5年間でどうやっていくのか。お金と人の裏付けを持って進めていくことが、この計画の実現に必要だと考えています。今日のご意見を踏まえて進めていきたいです。

委員：今回ワーキンググループの取りまとめをさせていただきました。その立場から申し上げたいのですが、前回出られた方は覚えていらっしゃると思いますが資料4の1枚目がかなり大きく変わっています。これは事務局に対して申し上げたいのですが、ずっとワーキンググループでは観光振興プランの目標の下の基本方針の検討を繰り返してきました。覚えていらっしゃると思いますが結構時間をかけました。目標があり、そのために何をするのかの方針を作り、そのための戦略を一番右のところでは細分化して考えようと申し上げました。方針を実現するためには施策という箱に入れていかなければならず、今の漢字だらけの固い表現になることはいたしかたないですが、これを積み上げることで目標に近づくためにどういうことを目指しているのかを方針で示したいと議論を重ねてきました。ところが今日見るとその部分が基本戦略になってしまっており、右側を積み上げたところこうなりましたと、考え方が180度変わっています。この辺りは事務局の検討があったのだと思いますが、ワーキンググループで時間をかけたものが違うものとして出てきたことが非常に残念です。是非今回委員の皆様にはそれを申し上げたいと思えました。一方で、ワーキンググループで繰り返し議論したことは、前プランが目立ちますが、ワーキンググループとして皆様から頂いたご意見を丁寧に拾っていただいていることには感謝を申し上げます。細かい話になりますが、一委員として施策を見て気になることを申し上げます。1-1としまオンリーワンブランドにおいて、前回のワーキンググループで発言しましたが、プランの目標の



中で観光ブランドの確立ということを書き入れて、その下にとしま観光ブランドについて書いており、今回の議論の中で情報発信が一つのキーワードでしたが、このとしまブランドについても議論しました。それは既存のアニメ、モンパルナスのイメージだけではないという議論でした。1-1にオンリーワンブランドという言葉があり、このブランドという単語の使い方が違うのですが、1-1-1に持って来られるとせつかく目標に掲げている、豊島の観光ブランド、交流による多様な文化で構築されるというものが一歩戻ってしまうのではないのでしょうか。既存の強みを育てていきたいということだろうと思うので、オンリーワンブランドのブランドという単語を変えていただきたいです。そうしないと齟齬が発生するのではないのでしょうか。1-1-1と1-3では、中身を見ると書きわけが今一つわかりません。もう一度整理していただきたいです。1-1は恐らく文化ということに特化して書かれたと思われるのですが、3番目に観光資源としてのイベントが入っています。1-3を見ると下にアニメ、グルメ、ショッピングと書かれており、豊島の魅力、地域資源を今後どうするのか、わかりにくくなっています。もし1-1に文化を落とし、今後9年間のアトカルを推進し、文化に焦点を当てたいというのであれば、1-3は別の文章にするべきではないのでしょうか。ワーキンググループでも議論が不十分でしたが、この辺りの整理が必要ではないのでしょうか。回遊性・回遊ルートは観光振興プランで書きがちであり、いろいろなところに回遊性という単語が出てきますが、回遊させるための仕組みづくりとルートとして完結してまとまりがある楽しめるアクティビティを売り出すためのルート作りはランクが違うのではないのでしょうか。ルートを設けて、動かすためのハードの整備は別です。1番目の魅力の向上で書くことは回遊性の向上ではなく、人々が豊島区周辺までを含めて長時間使って巡っていただくことでどういう複合的な楽しみ方ができるかを洗練し、テーマ別に明確にするということです。そのために何をやるのかという意味で、マップ、案内板、誘導の仕組みや情報発信を仕分けをして書きこんでいくべきではないのでしょうか。今はまだ回遊性を持つ一筆書きのルートやストーリー性が十分にでき上がっていない印象です。それは特出しして書いていただきたいです。2-4は無理やりタイトルを付けた印象がありますが、国際的イベントの活用は当然重要です。項目2として情報発信・誘客戦略がありますが、むしろ国際的イベントを活用して強力に豊島のイメージを売っていく、宣伝誘客していくことは特出ししても良いのではないのでしょうか。一方で、国際会議やイベントの誘致はワーキンググループでも議論しましたが、池袋には大きなコンベンション施設がなく、Harezaができたとしても不十分であり、街中点在型の工夫をした国際会議、イベントでないと誘致できません。これは戦略性を持って誘致していく必要があります、情報発信・誘客戦略の項目ではないのではないのでしょうか。収まりが悪いので別の場所に移動してはどうでしょうか。最後に今日も観光公害の話がずいぶん出てきましたが、雑司が谷でもこういったご意見が若干出ていまし

た。おそらく今後は住宅地に限らず、豊島区はこの観光公害問題に直面していくのではないのでしょうか。書き込みが甘かったことを個人的にも反省しています。その意味で 3-4 の愛着醸成に入っている、気持ちを変えれば済むような話ではなく、かなり積極的な対策を前倒しで取っていく必要があります、1 項目ではなく大きく施策として出すべきではないのでしょうか。その上でリーディングプロジェクトに戻りますが、これらの並べ方に対して疑問があります。重点的に進めるべきこととして今日の意見を踏まえると、安全安心、災害時も平常時も住民が観光を振興することで逆に不安を感じるようになってはいけません。観光振興とは何でもかんでも来ていただいてお金を落としてくださいということではなく、観光と住民の安全安心かつ快適な生活の共存を図ることが観光振興です。豊島区はそれを訴え続け前面に出し続けること、それがあってこそその交流による新たな文化共生、魅力づくりにつながるので、この部分を方針として大きく出すべきであると認識しています。また最初の委員会で学生の池袋に対する印象を聞いたと話しましたが、本日も、汚い、劇場から一步出たら居酒屋という意見がありました。それを良いと感じる人もいると思いますが、不安に思われる人もいらっしゃいます。やはり、きれいな豊島をつくるということを重点的に行うべきではないのでしょうか。きれいだと思える街を作ることはキャッシュレスと同じ発想で観光の名目で取組む必要があるのではないのでしょうか。キャッシュレスの方は放っておいても民間で進むのではないかと思います。バスのスマートモビリティを先進的に導入する話もありましたが、グローバルスタンダードレベルの利便的なもの、最先端なものがあるというのは攻めの戦略に使えるのではないのでしょうか。リーディングプロジェクトという書き方では実現性が高いか低いかの判断も出てくるため、わかりませんが、重点的にやるべきこととしては、安全安心の確保、きれいな豊島をつくる、きれいな景観をつくる、グローバルスタンダードレベルの利便性、先進性を備えた街になること、これらを重点的に観光部分から仕掛けていき、豊島区全体のものとしていくべきことだと考えています。

会長：ありがとうございます。すっかり総括をしていただいたので、私から言うことはあまりありません。これまで 5 回のワーキンググループを行いました。大きな見直しもあり時間が足りなかった部分もあります。いろいろとご意見をいただき、具体的に変えていくべきこともあります。パブリックコメントまでの 2 週間で今日の意見を反映し、直し切れなかった部分を直し、1 月 21 日に確認いただきたいと思います。いろいろな意見をいただきましたが、災害の対応は観光だけではできません。しかし、これだけインバウンドが増えると、この対応も観光の方から申し上げることが大事だと思います。豊島区においては、以前と比べて文化政策が観光の柱になってきました。私自身、これは正解だと思っています。これをいろいろな方面から支援していくことで豊島区の特徴ある観光というものに繋がっていくのではないのでしょうか。限られた予算、人員を効率的に導入し、プ

ランが絵にかいた餅で終わらないように進めていくことが非常に重要です。具体的にプランを進めていく次の段階では一番大事な要素です。オーバーツーリズム問題はまだ大きく発生していませんが、先を見て先手を打つことが重要で、このプランにも書き込んで今後の対応を考えていきたいと思っています。グローバルスタンダードからは日本は遅れています。Wi-Fi、キャッシュレス等すぐにやるべきこともあります。これは観光面だけでできることではありませんが、できることがあればどんどん進めていきたいと思えます。電気バス等もそうですが、観光にとって一番大事なことは最初にやることです。他地域がやっていない時にやれば話題にもなり、是非見てみたいということにつながります。未来社会はこういうものだと見える街を、観光だけでなく、まちづくりを担っている都市計画と一緒に考えていければと思っています。今回いただいた意見を反映し、パブリックコメントに回していきたいと思えます。以上で本日予定しておりました議事が終了しました。何か協議をしておきたい事項はありますか。特になければ最後に事務局からお知らせをお願いします。

事務局：ありがとうございました。本日言い足りないご意見がありましたら、28日正午までにお受けいたします。次回第4回委員会は1月21日月曜日14時から予定しています。詳細については改めて通知させていただきます。

### 3. 閉会

以上

配布資料	資料1：観光振興プラン策定委員会名簿 資料2：豊島区観光振興プラン改定スケジュール 資料3：豊島区観光振興プラン改定委員会ワーキンググループ要旨 資料4：豊島区観光振興プランの構成（素案）【概要版】 資料5：豊島区観光振興プランの構成（素案）
------	---